.19 日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

平2-220453

Sint. Cl. 5

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成2年(1990)9月3日

H 01 L 21/66 G 01 R 31/26 H 01 L 21/66 B 7376-5F J 8606-2G D 7376-5F

審査請求 未請求 請求項の数 5 (全13頁)

会発明の名称

ウエフア上電子回路検査装置

②特 願 平1-40601

②出 願 平1(1989)2月21日

⑩発 明 者 山 本

席 介

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号 日本電信電話株式

会社内

勿出 願 人

日本電信電話株式会社

東京都千代田区内幸町1丁目1番6号

個代 理 人 弁理士 田中 正治

明 朝 舞

- 1. 発明の名称 ウエファ上電子回路検査装置
- 2. 特許請求の範囲
 - 電子回路を形成しているウエファを収置するウエファ 収置台と、

上記ウエファ戦闘台に上方から対向しているとともに上記ウエファを上外方に臨ませる窓を有し且つ電磁温破用材でなる探針装架体保持台と、

探針を有し、且つ上記探針装架体保持台上に、上記探針を上記窓を通じて上記ウエファ 被避台側に延長させて、保持されている探針 装架体と、

上記ウエファ 載避台に、上記ウエファを開 方から取団むように上記探針装架体保持台側 に延長して設けられた第1の電磁遮蔽体と、

上記探針装架体保持台上に、上記探針装架体を覆うように設けられた第2の電磁遮蔽体とを有するウェファ上電子回路検査装置において、

上記ウエファ載器台が、上面側から設けられた凹所を有し具つ電磁遮蔽用材でなる監督 と、その基部の上記凹所内に絶縁材部を介し て配され且つ電磁遮蔽用材でなるウエファ載 置部とを行することを特徴とするウエファ上 電子回路検査装置。

特許請求の範囲第1項記載のウエファ上電子回路検査装置において、

上記ウエファ 模型台に、その側面及び上面に同口しているガス 流通路が設けられていることを特徴とするウエファ上電子回路検査装

3. 特許請求の範囲第1項記載のウェファ上電子回路検査装置において、

上記ウエファ鉄選台の絶縁材部内に、上記 ヴェファ戦選部を取倒んでいる第3の電量遮 蔵体が設けられていることを特徴とするウェ ファ上電子回路検査装置。

4. 特許請求の絶別第1項、第2項または第3 項記載のウエファ上電子回路検査装置におい

BEST AVAILABLE COP'

て、上記探針装架体が、カード状体でなり、 上記第2の電磁温数体が、上記探針装架体 上に形成された電磁温数用材料でなり、

上記探針義架体が、接地用端子を上記電磁 遮蔽用材器に連結している同軸コネクタと、 外部導体を上記同軸コネクタの接地用端子ま たは上記探針装架体の電磁遮蔽用材層に連結 し、中心導体の一端を上記同軸コネクタの信 号用端子に連結している同軸線とを有し、

上記探針が、上記同種線の中心導体の他端に連結されていることを特徴とするウエファ 上電子回路検査装置。

5. 特許請求の範囲第1項、第2項または第3 項記載のウェファ上電子回路検査装置において、

上記探針装架体が、カード状体でなり、

上記第2の電磁塩板体が、上記探針装架体上に形成された電磁塩蔵用材簡でなり、

上記探針装架体が、接地用端子を上記電磁 遮蔽用材層に連結している3 軸コネクタと、

直移動機構 4 を介して、電子回路を形成しているウエファ 5 を固定して 収置するウエファ 収置 位 6 が設けられている。

また、基台2上に、支持用杆7を用いて、探針装架体保持白8が、ウェファ 裁置台5に上方から対向するように設けられている。この場合、探針装架体保持台8は、ウェファ 教置台6上に固定して 裁置されるウェファ 5 を上外方に臨ませる窓9を有する。

さらに、探針装架体収持台8上に、探針10を行する探針装架体11が、探針10を探針計 架体保持台8の窓9を通じてウエファ 報置台6 朝に延長させて、保持されている。この場合、 探針装架体11は、探針10の位置をウエファ 報置台6に対して移動させるマニュピレータ機 構を有し、一方、探針10は、リード線(図示 せず)を用いて、宿子遮蔽用箱体1外の検査装 置本体(図示せず)に接続されている構成を有 する。

以上が、従来提案されているウェファ上電子

外部場外を上記3同梱コネクタの第1の信息 用端子に連結し、中心導体の一端を上記3軸 コネクタの第2の信息用端子に連結している 同軸線とを有し、

上記探針が、上記周軸線の中心導体の他端に連結されていることを特徴とするウェファ 上電子回路検査装置。

3. 発明の詳細な説明

【産業上の利用分野】

本発明は、半導体ウェファ上に形成されている半導体集積回路などのウエファ上電子回路を、それに探針を接触させて検査するウエファ上電子回路検査装置に関する。

【従来の技術】

従来、第7回を伴って次に述べるウェファ上 電子回路検査装置が提案されている。

すなわち、蓋(図示せず)を有する電子遮蔽 川箱休1内に、基合2が配され、その基台2上 に、水平面内において縦方向及び最方向に移動 する水平移動機構3及び垂直方向に移動する垂

国路検査装置の構成である。

このため、ウエファ 5 上に形成されている電子回路と電子 塩 蔵用箱体 1 外の検査装置 本体との間で、探針装架体 1 1 の探針 1 0 及びそれに接続するリード線(図示せず)を介して、検査用信号の投送を行なわせることによって、ウエファ 5 上に形成されている電子回路の検査を行うことができる。

また、第7図に示すウエファ上電子回路検査 「装置の場合、ウエファ 5 が、探針装架休11の 探針10とともに、電子遮蔽用箱体1によって、 外部から電磁遮蔽されているので、上述したウ エファ5上に形成されている電子回路の検査を、 外部からの雑音にほとんど影響されることなし に、安定に行うことができる。

しかしながら、第7図に示す従来のウエファ 上電子回路検査装置の場合、ウエファ 5 を、探 針装架体11の探針10とともに、外部から電 磁連敲するのに、基合2、水平移動機構3、垂 直移動機構4、ウエファ 裁置台6、探針装架体 使用いているので、その電子 遮蔽用 箱体1の大 きごと適量のために、 クエファ上電子 国路検査 装置が、全体として、 大型化し且つ 重風化する、 という欠点を有していた。

また、第7図に示す従来のウエファ上電子回路検査装置の場合、電子遮蔽用箱体1は、電子遮蔽用箱体1は、電子遮蔽用箱体1かで発生する雑倉を、ウエファ5及び探針装架休11の探針10に対して電磁遮蔽しているとしても、電子遮蔽用箱体1内の例

上述したウエファ 5 上に形成されている沼子回路の検査に用いる検査用信号の周波数を、高くするのに一定の限度を有し、従って、商周故の検査用信号による、ウエファ上に形成されている電子回路の検査が困難である、という欠点を有していた。

また、第8図を伴って次に述べるウエファ上 電子回路検査装置も提案されている。なお、第 8図において、第7図との対応部分には同一符 号を付し、詳細説明を省略する。

第8回に示す従来のウエファ上電子回路検査 装置は、次の事項を除いて、第7回で上述した 従来のウエファ上電子回路検査装置と同様の構 成を有する。

すなわち、電子遮蔽用箱体1が省略されている。

しかしながら、ウエファ戦闘台6及び探針装架体保持台8が電磁遮蔽用材(導電性材)でなる。

また、ウエファ載置台6に、ウエファ観置台

えば水平移動機構 3、重直移動機構 4 などから発生する組合を、ウエファ 5 及び探針装架体 1 1 の探針 1 0 に対して電阻遮蔽していないため、上述したウエファ 5 に形成されている電子回路の検査が、複者の組造によって影響される、というがそれを有していた。

さらに、第7図に示す従来のウエファ上電子 回路検査模型の場合、電子遮蔽用箱体1によっ でウエファ 5 を取開んでいる空間が大きいので、 上述したウエファ 5 上に形成されている電子回 路の検査を、ウエファ 5 から発生する熱を外部 に放然させながら行なったり、また、ウエ ファ 5 を外部から加熱しながら行なったりしよ うとして、ウエファ 5 に対する外部からの温度 初脚を行なわんとしても、それに困難を伴う、 という欠点を有していた。

また、第7図に示す従来のウエファ上電子回路検査装置の場合、探針装架体11の探針10をリード線を用いて、電子遮蔽用箱体1外の検査装置本体まで長く延長する必要があるため、

さらに、探針接架体保持台8上に、探針10を有する探針装架体11を覆っている電磁遮蔽体13が設けられている。この場合、電磁遮蔽体13は、探針装架体10をそれに接触せずに置している蓋体でなる。

以上が、従来提案されている、他のウエファ 上電子回路検査装置の構成である。

このような構成を有する従来のウエファ上電子回路検査装置によれば、電磁速酸は12を下降させている状態で、ウエファ転置台6上に電子回路を形成しているウエファ5を載置し、そのウエファ5上に形成されている電子回路上の

所定の位置に、第7図で上述した従来のウエリを 定用子回路検査装置の場合と同様に、探針数 架体11の探針10を接触させ、そして、保 ななは12をそれが探針数架体保持台8により または近接対向するまで上昇させた状態で エファ5上に形成されている電子回路の検査を が直接でよっては が12及び13とによって が2数で、保 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 が2を行なわせる。 で2を行なわせる。 で3を行なわせる。 で4を行なわせる。 で5とによって が2を行なわせる。 で5とによった で5とによって で5とにたる。

また、第8図に示す従来のウエファ上電子回路検査装置の場合、ウエファ報選台6及び探針装架体保持台8が、電磁遮蔽用材でなるので、電磁遮蔽体として機能し、そして、それらウエファ報器台6及び探針装架体保持台8と、電磁遊放12及び13とによって、ウエファ5が、探針装架体11の探針10とともに取囲まれて

また、第8回に示す従来のウエファ上電子回 路検査装置の場合、ウエファ収置台6が、第7 図で上述した従来のウェファ上電子回路検査装 置の場合と同様に、基台2上に、水平移動機構 3及び垂直移動機構 4 を介して設けられている ことにより、それら水平移動機構3及び垂直移 動機構4から、ウエファ5及び探針装架体11 の探針10に対する雑音が発生するとしても、 その雑音が、ウエファ教置台6と、探針装架体 保持台8と、電磁遮蔽休12及び13とによっ て、確実に、電磁遮蔽される。このため、上述 したウエファ5上に形成されている君子回路の 検査が、雑音によって影響される、というおそ れをほとんど有さず、従って、この点に関する 第7図で上述した従来のウエファ上電子回路検 査装置の欠点を有しない。

さらに、第8回に示す従来のウェファ上電子 四路検査装置の場合、ウェファ5が、ウェファ 数置台6及び探針装架体保持台8と、電阻遮蔽 体12及び13とによって、収囲まれていると いるので、ウェファ 5 が、探針装架体 1 1 の探針 10 とともに、外部から電磁遮蔽されている。このため、上述したウエファ上に形成されている電子国路の検査を、第3 図で上述した従来のウェファ上電子回路検査装置の場合と同様に、外部からの雑名にほとんど影響されることなしに、安定に行うことができる。

また、第8回に示す従来のウェファ上電子回路検査装置の場合、ウェファ5上に形成されている電子回路との間で検査用信号の授受を行なわせるための検査装置本体は、ウェファ被留台6及び探針装架体保持台8と電量遮蔽休12及び13とによって収囲まれた空間外に設けられ

るが、その空間は、第3図で上述した従来のウェファ上電子回路検査装置の電子遮蔽用箱体1に比し格段的に小さな大きさにしかならないので、深針装架体11の探針10をリード線を用いて検査装置本体まで長く延度しなくてもすみ、よって、高周波の検査用信号による、ウェファ上に形成されている電子回路の検査も、容易に行うことができる。

さらに、第9図を伴って次に述べるウェファ 上電子四路検査装置も提案されている。なお、第9図において、第8図との対応部分には同一符号を付し、詳細説明を省略する。

第9回に示す従来のウエファ上電子回路検査 装置は、次の事項を除いて、第8回で上述した 従来のウエファ上電子回路検査装置と同様の構 成を有する。

すなわち、探針装架体11が、探針10を延長している窓11aを形成しているカード状体でなる探針装架体11上に、電磁遮蔽用材(導電性材)層14が形成

ウエファ上電子回路検査装置と同様の作用効果が得られる。

【発明が解決しようとする問題点】

第8図及び第9図で上述した従来のウェファ 上電子回路検査装置の場合、上述したように、 第7図で上述した従来のウェファ上電子回路検 査装置の上述した欠点を有効に回避し得る。

ところで、従来、第8回及び第9回で上述した従来のウエファ上電子回路検査装置において、ウエファ5を通る電流を測定せんとすることが望まれることから、そのウエファ5を通る電流を、ウエファ検政台6を介して、外部の検査装置体に取出すことが行われている。

しかしながら、第8図及び第9図で上述した 従来のウエファ上電子回路検査装置の場合、ウ エファ 転置台6自体が、外部から電量遮蔽され ていないため、ウエファ5を通る電流が、ウエ ファ 報置台6を通る過程で、雑音の影響を受け るおそれを有する。

従って、第8回及び第9回で上述した従来の

されている。そして、その探針装架体11が、 電磁遮蔽用材(海電性材)でなる抑え板15と、 それを周通して探針装架体保持台8に螺入して いる電磁遮断用材(海湿性材)でなる螺子手段 16によって、探針装架体保持台8上に、位置 決めして設けられている。この場合、抑え板1 5は、探針装架体11上の電磁遮蔽用材刷14 に接触し、そして、電磁遮蔽体13が構成され ている。

また、探針装架体11の窓11aが、上方から、電磁遮蔽川材でなる整板17によって閉ざされている。

以上が、従来提案されている、さらに他のウエファ上電子回路検査装置の構成である。

このような構成を有する従来のウエファ上電子回路検査装置によれば、それが上述した事項を除いて第8回で上述した従来のウエファ上電子回路検査装置と同様の構成を有するので、詳細説明は省略するが、第8回で上述した従来の

ウエファ上街子回路検査装置の場合、ウエファ 5を通る電流を、ウエファ 裁置台 6 を介して、 外部の検査装置体に取出して測定せんとする場合、そのウエファ 5 を通る電流が、雑音の影響 を受けて得られるおそれを有するため、ウエファ 5 を通る電流を、正しく測定することができない、という欠点を有していた。

よって、本発明は、上述した欠点のない、新 似なウエファ上電子回路検査装置を提案せんと するものである。

【問題を解決するための手段】

本見明によるウエファ上電子回路検査装置は、第8図及び第9図で上述した従来のウエファ上電子回路検査装置の場合と同様に、次に述べる 構成を有する。

すなわち、①電子回路を形成しているウェファを収置するウェファ報置台と、②そのウェファ報間台に上方から対向しているとともに上記ウェファを上外方に臨ませる窓を有し且つ電磁 連蔵川材でなる深針装架体保持台と、③探針を 有し、且つ上記探針装架体保持台上に、上記探針を上記窓を通じて上記ウエファ 裁談台側に延長させて、保持されている探針装架体と、企上記ウエファを側方のに 取団むように上記探針装架体保持台側に延迟針 で設けられた第1の電磁波鉄像体を覆うよう に設けられた第2の電磁波鉄体とを有する。

しかしながら、本発明によるウェファ上電子 回路検査装置は、上述した構成を行するウェファ上電子回路検査装置において、そのウェファ 被置台が、上面側から設けられた凹所を有し且 つ電磁遮蔽用材でなる基部と、その基部の上記 凹所内に絶縁材部を介して配され且つ電磁遮蔽 用材でなるウェファ執置部とを有する。

(作用・効果)

本発明によるウエファ上電子回路検査装置に よれば、ウエファ 載置台が、上述した基部と上述したウエファ 載置部とを有することを除いて、 第8図及び第9図で上述した従来のウエファ上

し得る値でしか受けない。

このため、ウェファを通る電流を、検査装置 本体において、第8回及び第9回で上述した従来のウェファ上電子回路検査装置の場合に比しより正しく測定することができる。

【実施例1】

次に、第1図を伴って本発明によるウェファ 上電子回路検査装置の第1の実施例を述べよう。 第1図において、第8図との対応部分には同 一行号を付し、詳細説明を省略する。

第1図に示す本発明によるウエファ上電子回路検査装置は、次の事項を除いて、第8図で上述した従来のウエファ上電子回路検査装置と同様の構成を有する。

すなわち、ウエファ 裁置台 6 が、上面側から設けられた凹所 2 2 を有する基部 2 1 と、その基部 2 1 の凹所 2 2 内に、例えば合成樹脂による絶縁材部 2 3 を介して配されたウエファ 数置部 2 4 とを有する。

この場合、基部21及びウェファ税置部24

電子回路検査装置の場合と同様の構成を有するので、詳細説明は省略はるが、第8図及び第3図とので上述した従来のウエファ上に形成されれを介置の場合と同様に、ウエファ上に形成されたの間で、繰査用信号の投受を行わせることができる。 図及び第9図で上述した従来のウエファ上に形成なの係を 類及び第9図で上述した従来のウエファ上に行う 図及び第9図で上述した従来のウェファ上に行う にとができる。

しかしながら、本発明によるウエファ上電子 回路検査装置の場合、ウエファ 観覧台が、上述 した基部と上述したウエファ 観問部とを有って、 そして、そのウエファ 観問部が経郷によって外 部から電強遮蔽されているので、ウエファ を通 る電流を、ウエファ 観 台を介して、外部に取 る電流を、ウエファ 観 台を介して、外部に取 はして測定する場合内を通る過程で、 雑音の影 りエファ 観音台内を通るとしても無視

は、ともに電阻進蔵用材でなる。

また、彗部21に、電磁遮蔽体12の母螺1 2aと螺合する螺子6aが付されている。

さらに、ウェファ 載置台 6 の 雄部 2 1 内に、その 凹所 2 2 の 内面 と 基部 2 1 の 側面 と に 開口 している 配線 川孔 2 5 が 設けられ、そして、 その 配線 用孔 2 5 内にも 絶縁 材部 2 3 が延長されている。

また、基部21の側面上に、配線用孔25の 即口位置において、同種コネクタ26が取付け られ、そして、その同軸コネクタ26の接地用 端子(外部導体)が基部21に連結され、また、 信月用端子(中心導体)が絶縁材部23内に延 長しているリード線27を介してウエファ報置 部24に連結されている。

さらに、探針装架体保持台8上に設けられた 沼田 遊林13に、その外側から、他の同種コネクタ28が収付けられ、そして、その同植コネクタ28の接地用端子(外部導体)が電磁遮蔽休13に連結され、また、信身用端子(中心 導体)がリード線29を介して探針装架体11 に装架されている探針10に連結されている。

以上が、本発明によるウエファ上電子回路検査装置の第1の実施例の構成である。

なお、ウエファ5上に形成されている電子回

路の検査を行う場合において、検査用館号の投受は、探針10の外、リード線29及び同軸コネクタ28と、そのコネクタ28から検査装置本体に延長している同軸線(図示せず)を介して行われる。

しかしながら、第1回に示す木発明によるウエファ上電子回路検査装置によれば、ウエファ 裁置台6の基部21に設けた同幅コネクタ26 から同軸線(図示せず)を検査装置本体に延ら させれば、ウエファ 5 を通る電流を、ウエファ 裁置台6のウエファ 検査装置本体に近りている同情なを通って、検査装置本体に流すことが できるので、検査装置本体において、ウエファ 5 を通る電流を測定することができる。

そして、この場合、ウエファ 観査 台 6 のウエファ 観査 台 6 の 基部 2 1 によって、外部から電磁遮蔽されているので、ウエファ 5 を通る電流が、ウエファ 観置台 6 のウエファ 観置部 2 4 及びり

ード線27を通る過程で、雑音の影響を受ける おそれをほとんど有しない。

このため、ウェファ 5 を通る電流を、検査装置本体において、第 8 図で上述した従来のウェファ上電子回路検査装置の場合に比しより正しく測定することができる。

【実施例2】

次に、第2回を伴って本発明によるウェファ 上電子回路検査装置の第2の実施例を述べよう。 第2回において、第1回及び第9回との対応 部分には同一符号を付し、詳細説明を省略する。 第2回に示す本発明によるウェファ上電子回 路検査装置は、次の事項を除いて、第9回で上 述した従来のウェファ上電子回路検査装置と同 様の構成を有する。

すなわち、ウエファ 枝霞白 6 が、第 1 図で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置の場合と同様に、上面側から設けられた四所2 2 を有する基部2 1 と、その基部2 1 の凹所2 2 内に、例えば合成樹脂による絶縁材部2 3

を介して配されたウエファ戦闘部24とを有する。

この場合、基部21及びウェファ戦闘部24 も、第1図で上述した本発明によるウェファ上 電子回路検査装置の場合と同様に、ともに電磁 連載用材でなる。

また、基部21に、第1図で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置の場合と同様に、電磁遮蔽体12の関螺12aと螺合する螺子6aが付されている。

さらに、ウエファ戦器台6の基部21内に、第1回で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置の場合と同様に、その凹所22の内面とは即口している配線用孔25が設けられ、そして、その配線用孔25内にも絶様材部23が延長されている。さらに、 以部21の側面上に、第1回で上述した本発明によるウェファ上電子回路検査装置の場合と同様に、配線用孔25の間口位置において、同値 コネクタ26の接地用端子(外部導体)が基部 21に連結され、また、信号用端子(中心導体) が絶縁材部23内に延長しているリード線27 を介してウエファ税置部24に連結されている。 さらに、深針装架体11上に設けられた電磁 遮蔽材暦4上に、第5回とともに参照して明ら かなように、3個コネクタ31の接地用端子 (外部導体)が電磁遮蔽材屑14に連結され、

また、第1の信号用端子(中心導体)が同幅線 32の中心導体を介して探針装架体11に装架 されている探針10に連結され、さらに、第2 の信号端子(中心導体と外部導体との値の環状 導体)が同幅線32の外部導体に連結している。

以上が、本発明によるウェファ上電子回路検 査装置の第2の実施例の構成である。

このような構成を有する本発明によるウェファ上電子回路検査装置によれば、上述した事項を除いて、第9図で上述した従来のウェファ上電子回路検査装置の場合と同様の構成を有する

教置の場合と同様に、ウエファ収置台6の基部21に設けた同様コネクタ26から同軸線(図示せず)を検査装置本体に延長させれば、ウエファ 観 置 台6のウエファ 観 置 部 24、リード 線 27、 同軸コネタ 26、 検査装置本体に流すことができるのでで、 検で変数 本体において、 ウェラ 5 を通る電流を 測定することができる。

そして、この場合、第1図で上述した本発明によるウェファを留合のウェファ教置の場合と4及びリード線27が、ウェファ教置台6の封部21カでよって、外部から電磁波されているので、ウェファも適るで、力エファ教置部24及びリード線27を通るのので、維音の影響を受けるおそれをほとんど有しない。

このため、ウエファ 5 を通る電流を、検査装置本体において、第 8 図で上述した従来のウェ

ので、詳細説明は省略するが、【従来の技術】の項において上述した第9図に示す従来のウエファ上電子回路検査装置の場合と同様に、検査の設定を行わせることによって、ウエララ上に形成されている電子回路の検査を行わせる電子回路の検査を行ることができ、また、その検査を、【従来の技術】の項において上述した第8図に示す従来のウェファ上電子回路検査装置の場合と同様の特徴を行して行うことができる。

なお、ウエファ 5 上に形成されている電子回路の検査を行う場合において、検査用信号の投受は、探針10の外、周軸線32及び3軸コネクタ31と、その3軸コネクタ31から検査装置本体に延長している3軸線(図示せず)を介して行われる。

しかしながら、第2図に示す水発明によるウエファ上電子回路検査装置によれば、第1図で 上述した本発明によるウエファ上電子回路検査

ファ上電子回路検査装置の場合に比しより正し く測定することができる。

【寒施例3】

次に、第3図を伴って本発明によるウェファ 上電子回路検査装置の第3の実施例を述べよう。 第3図において、第2図との対応部分には同 一符月を付し、詳細説明を省略する。

第3図に示す本発明によるウエファ上電子回路検査装置は、次の事項を除いて、第2図で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置と同様の構成を有する。

すなわち、ウエファ 裁置台 6 に、その側面から上面に開口しているガス流道路 4 1 が設けられている。

 け、その孔42内に絶縁材部23を延長させ、そして、絶縁材部23のみを通って延長させることもできる。なお、43は、数部21の側面にガス流通路41と連通するように設けられたガス管連結長である。

また、盗板17に、その下面から傾面に閉口 しているガスぬ通路44が設けられている。

以上が、本発明によるウエファ上電子回路検査装置の第3の実施例の構成である。

このような構成を有する水発明によるウエファ上電子回路検査装置によれば、上述した事項を除いて第2図で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置と同様の構成を有するので、 詳細説明は省略するが、第2図で上述と同様の特徴を有する。

しかしながら、第3回に示す本発明によるウエファ上電子回路検査装置の場合、ウエファ飲置台6にガス焼通路41を有し、また蓋休17にもガス筬通路44を有するので、ガス筬通路

すなわち、ウエンア 数置台 6 を構成している 地核材部 2 3 内に、ウエファ 数置部 2 4 を取開 んでいる電阻 遮蔽体 5 1 が設けられている。こ の場合、電阻 遮蔽体 5 1 は、図示のように、ウ エファ 数置台 6 の上面 と対向するようにウエフ ア 秋 置台 6 上に延長させるのを可とする。

また、同価コネクタ26が、3触コネクタの接出間接され、そして、その3触コネクタの接地用端子(外部均休)がウエファ被置台6の登録部21に連結され、また、第1の信号用端子(中心導体)がウエファ被置台6のウエファ被置台6のウェファ被第3~4にリード線53を介して連結されている。

以上が、木雅明によるウエファ上電子回路検査装置の第4の実施例の構成である。

このような構成を有する水発明によるウエファ上電子回路検査装置によれば、上述した事項を除いて第2図で上述した水発明によるウエフ

3 1 に、ガス管連結員43 を介して、ガス管(図示せず)を連結し、加然または加温されたガスを流入させれば、それがガス流通路41を通り、次でウエファ戦闘台6と探針襲架体11の窓11aを通り、次で切り、次で探針襲架体11の窓11aを通り、次で切り、の流れの過程で、ウエファ5を加熱または加温されている電子回路ので、ウエファ5を加熱または加温されている電子回路の検査を、その電子回路の温度をバラメータとして容易に行わせることができる。

【実施例4】

次に、第4図を伴って本発明によるウエファ 上電子回路検査装置の第4の実施例を述べよう。 第4図において、第2図との対応部分には同 一符月を付し、詳細説明を省略する。

第4図に示す本発明によるウエファ上電子回路検査装置は、次の事項を除いて、第2図で上述した従来のウエファ上電子回路検査装置と同様の構成を有する。

ア上電子回路検査装置の場合と同様の構成を有するので、第2図で上述した本発明によるウエファ上電子回路検査装置の場合と同様の特徴を 有する。

なお、上述においては、本発明によるウエファ上電子回路検査装置の僅かな例を示したに留まり、例えば第2図で上述した構成において、その円筒状の電磁遮蔽体12の尺螺12a及びウエファ裁置台6の螺子6aを省略し、電磁遮

また、第2図で上述した探針装架休11の下面及び窓11aの内面に、第5図に示すように、電性温蔵用材牌14を延長させることもできる。 さらに、3億コネクタ31を、第6図に示すように、同輪コネクタ61に代えた構成とする こともでき、その他、木発明の精神を脱することなしに、極々の変型、変更をなし得るであるう。

4、図面の簡単な説明

第1図は、本発明によるウエファ上電子回路 検査装置の第1の実施例を示す一部を断面にし て示す略線的正面図である。

第2図は、本発明によるウエファ上電子回路 検査装置の第2の実施例を示す一部を断面にし て示す略線的正面図である。

第3回は、本発明によるウエファ上電子回路 検査装置の第3の実施例を示す、その要部の一 部を断面として示す略線的正面図である。

第4図は、木発明によるウェファ上電子回路 検査装置の第4の実施例を示す、その要部の一部を断面として示す略粒的正面図である。

第5図は、第2図に示す本発明によるウェファ上電子回路検査装置の探針装架体を詳細に示す一部を断面として示す図である。

第6図は、第2図、第3図及び第4図に示す

本発明によるウエファ上電子回路検査装置に用い切る他の探針装架体を詳細に示す一部を断面として示す図である。

第7図、第8図及び第9図は、従来のウェファ上電子回路検査装置を示す一部を断面にして示す略線的正面図である。

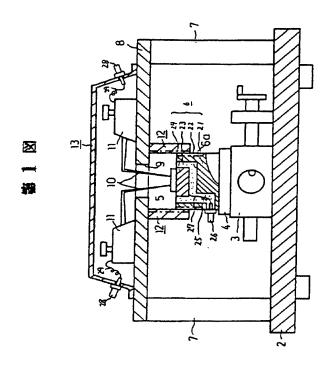
- 1 … … 電子遮蔽用箱体
- 2 基 台
- 3 … … 水平移動機構
- 4 … … ... 垂直移動機構
- 5 ………ウェファ
- 6 … … … ウエファ 載 置 台
- 6 a … … 螺子
- 7 … … ... 支持用杆
- 8 … … ... 探針 装架体保持台
- 9,11a
 - 探
- 10……深針
- 1 1 … … 探針装架体
- 12,13

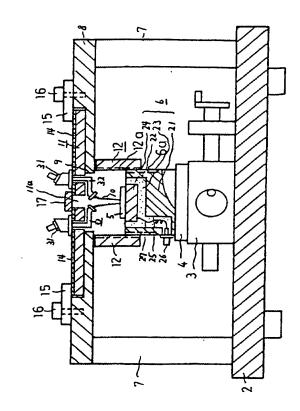
- 12a…… 母螺
 - 1 4 … … 電磁波 蔵用 材簡
 - 15………抑え仮
 - 16……如螺子手段
 - 17……遊板

 - 2 2 … … … 四所
 - 2 3 … … … 絶 禄 材 部

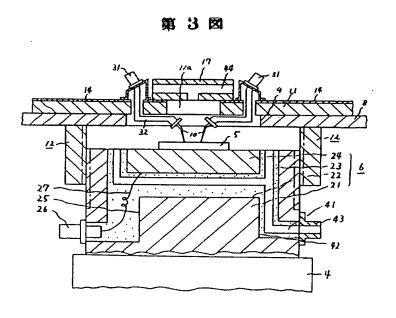
 - 25 … … ... 配 線 用 孔
 - 26………同柚コネクタ
 - 3 1 … … … 3 値コネクタ
 - 3 2 … … ... 同帕線
 - 41,44
 - ガス流通炉
 - 4 2 71
 - 4 3 … … か カ ス 連 粘 具
 - 5 1 … … 電船 追 蔽 体
 - 6 1 … … 同 値 コネクタ

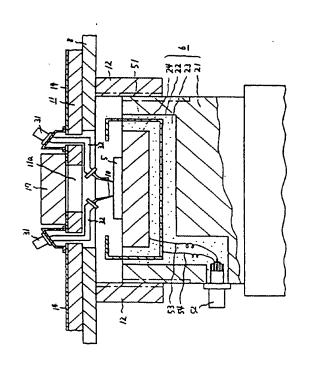
持開平2-220453 (11)

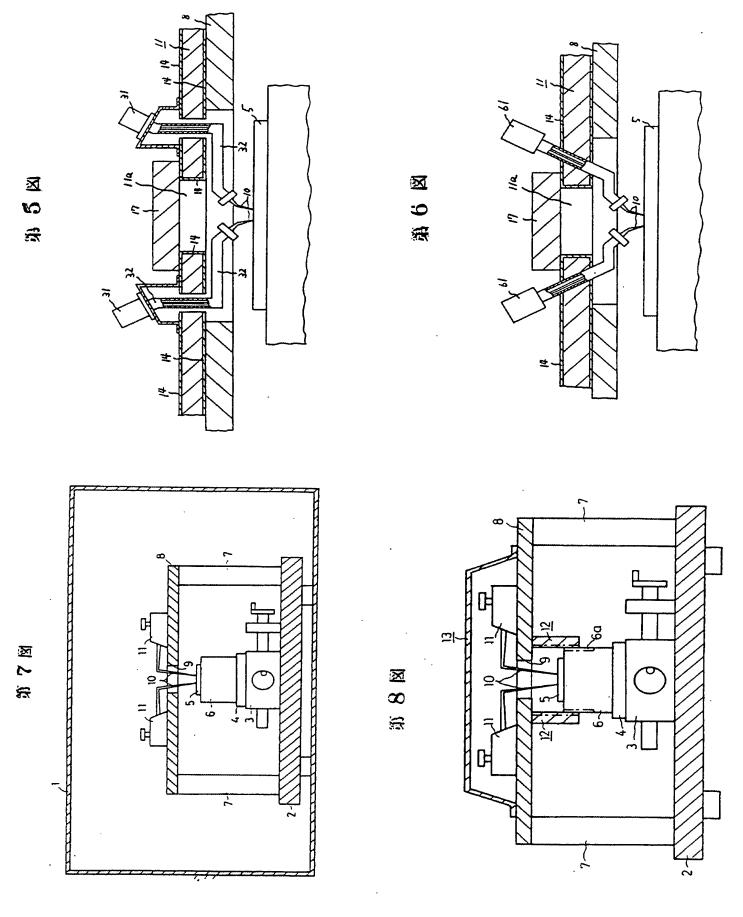




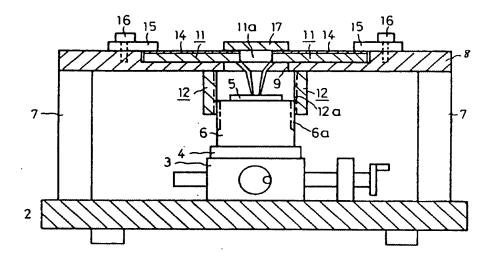
第2図







第 9 図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS

IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

FADED TEXT OR DRAWING

BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

SKEWED/SLANTED IMAGES

COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

GRAY SCALE DOCUMENTS

LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.